

授 業 概 要 (1 / 2)

授業のタイトル（科目名） ソーシャルワークの理論と方法		授業の種類 (講義・演習・実習)	授業担当者 保田 浩美	科目コード 3008
回数 30回	時間数（単位数） 60時間	配当学年・時期 1年 通年	必修 ・ 選択	
[授業の目的・ねらい] ○人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて説明することができる。 ○ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチの特徴や歴史的背景を区別することができる。 ○ソーシャルワークの過程に合わせて、必要な知識と技術を対応させることができる。 ○相談者の人数やレベルに応じて、適切な支援方法を提案することができる。 ○ソーシャルワークにおけるスーパービジョンの仕組みや特性を説明することができる。				
[授業全体の内容の概要] 「人と環境との交互作用に関する理論」、「実践モデルとアプローチ」、「援助過程と記録」「ケアマネジメント」「グループワーク」、「コミュニティソーシャルワーク」、「スーパービジョンとコンサルテーション」について学び、ソーシャルワーク相談援助の基礎知識を得る。				
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] 1. ソーシャルワークの変遷 2. 人と環境の交互作用 3. システム理論 4. 生態学理論 5. バイオ・サイコ・ソーシャルモデル 6. ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク 7. ソーシャルワークの援助過程 8. ケース発見 9. インテーク 10. アセスメント 11. プランニング 12. インターベンション（支援の実施） 13. モニタリング 14. 支援の終結と事後評価 15. アフターケア				
[使用テキスト・参考文献] 最新・社会福祉士養成講座 12 「ソーシャルワークの理論と方法 共通」 中央法規 社会福祉小六法2024		[単位認定の方法及び基準] 授業態度、積極性、提出物、小テスト、試験、出席状況から総合的に評価する 前期及び後期試験の総合評価により単位認定 評価基準：6割以上の成績をもって合格とする		

授 業 概 要 (2/2)

授業のタイトル (科目名) ソーシャルワークの理論と方法		授業の種類 (講義・演習・実習)	授業担当者 保田 浩美
回数 30回	時間数 (単位数) 60時間	配当学年・時期 1年 通年	☒ 必修 ・ 選択
[授業の目的・ねらい] ○人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて説明することができる。 ○ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチの特徴や歴史的背景を区別することができる。 ○ソーシャルワークの過程に合わせて、必要な知識と技術を対応させることができる。 ○相談者の人数やレベルに応じて、適切な支援方法を提案することができる。 ○ソーシャルワークにおけるスーパービジョンの仕組みや特性を説明することができる。 [授業全体の内容の概要] 「人と環境との交互作用に関する理論」、「実践モデルとアプローチ」、「援助過程と記録」、 「ケアマネジメント」「グループワーク」、「コミュニティソーシャルワーク」、「スーパービジョンとコンサルテーション」について学び、ソーシャルワーク相談援助の基礎知識を使って支援の見通しを立てる事ができる。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] 16. 支援の終結と事後評価 17. アフターケア 18. ソーシャルワークの記録 19. ケアマネジメント 20. グループワークの展開過程 21. セルフヘルプグループ 22. コミュニティワークの意義と目的 23. スーパービジョンの意義と目的 24. スーパービジョンの形態 25. 医療モデル・生活モデル・ストレングスモデル 26. 心理社会的アプローチ・問題解決アプローチ 27. 機能的アプローチ・ 28. ブリーフモデル (行動変容アプローチ、危機介入アプローチ) 29. ブリーフモデル (解決志向アプローチ・実存主義アプローチ) 30. ナラティブアプローチ・エンパワメントアプローチ			
[使用テキスト・参考文献] 最新・社会福祉士養成講座 12 「ソーシャルワークの理論と方法 共通」 中央法規 社会福祉小六法2024		[単位認定の方法及び基準] 授業態度、積極性、提出物、小テスト、試験、出席状況から総合的に評価する 前期及び後期試験の総合評価により単位認定 評価基準：6割以上の成績をもって合格とする	

